

ユネスコスクール キャンディデート校インタビュー

学校名（都道府県）
鳥取県立鳥取西高等学校（鳥取県）
1. ユネスコスクール加盟を目指したきっかけは何ですか？
<p>本校は 2015 年から 5 年間、文部科学省よりスーパーグローバルハイスクール（SGH）指定を受け、「グローバル化の中の地域創生」をテーマに海外研修・国際交流・探究的な学びの構築を進めてきました。この活動を発展・継続させることに加えて、SGH 事業の中で生徒の意識が高まってきた ESD を教育活動の軸として取り組むため、ユネスコスクール加盟を申請しました。</p>
2. チャレンジ期間中、加盟に向けてどのようなことを意識し、何に力を入れてきましたか？
<p>SGH 事業をベースにするグローバルな視点、持続可能な社会づくりを目指す地域の創生、海外・国内の学校やコミュニティへの参画を柱にして、①ESD 視点の授業実践、②課題研究での ESD 探究学習および防災・減災教育、③海外・国内研修および職員研修をおこないました。これらの成果について、岡山県ユネスコスクール高等学校ネットワーク実践交流会で実践報告や交流をおこないました。</p>
3. 加盟申請後、学校や教員、児童生徒に変化はありましたか？
<p>「ESD」を教育活動の柱として意識するシーンが増えたことが挙げられます。今年度から本校ではスーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業や、三菱みらい育成財団支援事業など、活発な教育活動を展開しています。ハワイと本校をつなぐオンライン研修、鳥取県内のフィールド研修、放課後に実施する ESD セミナーなど個別の活動は多岐にわたりますが、それらを統合する大きな柱として、今後の世界・地域の持続可能性を念頭においたものとなっています。</p>
4. その他、メッセージなど（任意）
<p>コロナ禍を乗り越えて、より多くの方々と交流を深めていきたいと心から願っています。今後ともよろしく申し上げます。</p>